

(19) 日本国特許庁(JP)

## (12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第6246737号  
(P6246737)

(45) 発行日 平成29年12月13日(2017.12.13)

(24) 登録日 平成29年11月24日(2017.11.24)

(51) Int.Cl.

F 1

G06Q 50/00 (2012.01)  
G06F 13/00 (2006.01)G06Q 50/00 300  
G06F 13/00 560A  
G06F 13/00 650B

請求項の数 18 (全 28 頁)

(21) 出願番号 特願2014-556794 (P2014-556794)  
 (86) (22) 出願日 平成25年2月11日 (2013.2.11)  
 (65) 公表番号 特表2015-508206 (P2015-508206A)  
 (43) 公表日 平成27年3月16日 (2015.3.16)  
 (86) 國際出願番号 PCT/US2013/025641  
 (87) 國際公開番号 WO2013/120105  
 (87) 國際公開日 平成25年8月15日 (2013.8.15)  
 審査請求日 平成28年2月11日 (2016.2.11)  
 (31) 優先権主張番号 61/596,981  
 (32) 優先日 平成24年2月9日 (2012.2.9)  
 (33) 優先権主張国 米国(US)  
 (31) 優先権主張番号 61/665,163  
 (32) 優先日 平成24年6月27日 (2012.6.27)  
 (33) 優先権主張国 米国(US)

(73) 特許権者 514203498  
 エクバーグ、レーン、エー。  
 アメリカ合衆国、84121 ユタ州、ソルトレイクシティー、7135 ポンデローサ ドライブ  
 (74) 代理人 100104411  
 弁理士 矢口 太郎  
 (72) 発明者 エクバーグ、レーン、エー。  
 アメリカ合衆国、84121 ユタ州、ソルトレイクシティー、7135 ポンデローサ ドライブ  
 審査官 塩田 徳彦

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】イベントベースのソーシャルネットワーキング

## (57) 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

ネットワーク化された通信を円滑にする方法であって、  
 ソーシャル・ネットワーキング・サービス内に複数のイベントプロファイルを作成する工程と、  
 前記ソーシャル・ネットワーキング・サービスの複数のユーザープロファイルを前記イベントプロファイルと関連付ける工程であって、1以上のユーザープロファイルが前記複数のイベントプロファイルに関連付けられるようにするものである前記関連付ける工程と、

前記ソーシャル・ネットワーキング・サービスの第1のユーザーのユーザープロファイルおよび第2のユーザーのユーザープロファイルが1つのイベントプロファイルと関連付けられているとの決定に応答してメッセージインターフェイスを提供する工程であって、当該メッセージインターフェイスは、前記第1のユーザーが前記第2のユーザーに非公開メッセージを送信するように動作可能である、前記提供する工程と、

前記イベントプロファイルと関連付けられた複数のフィルターカテゴリーを使用して前記イベントプロファイルと関連付けられた各々のユーザープロファイルを分類する工程と、  
 イベントプロファイルページを表示する工程であって、前記イベントプロファイルページは、前記イベントプロファイルと当該イベントプロファイルに関連付けられた複数のユーザープロファイルへのリンクを含み、前記複数のユーザープロファイルは前記複数のフィルターカテゴリーを使用して選択したものである、前記表示する工程と、

10

20

を有する方法。

**【請求項 2】**

請求項 1 記載の方法において、前記複数のフィルターカテゴリーは、1若しくはそれ以上のビジネスカテゴリーと、交際カテゴリーと、交友カテゴリーとを有するものである方法。

**【請求項 3】**

請求項 2 記載の方法において、前記複数のフィルターカテゴリーは、さらに、前記イベントプロファイルと関連付けられたビジネス、場所、物品、およびサービスを促進するために管理者によって定義可能な宣伝カテゴリーを有するものである方法。

**【請求項 4】**

請求項 1 記載の方法において、複数のユーザープロファイルを前記イベントプロファイルと関連付ける工程は、少なくとも1つのユーザープロファイルの位置が前記イベントプロファイルの1若しくはそれ以上の位置基準を満たすと決定する工程を含むものである方法。

**【請求項 5】**

請求項 1 記載の方法において、前記非公開メッセージは、1若しくはそれ以上の電子メールメッセージ、チャットメッセージ、ビデオメッセージ、および音声メッセージを有するものである方法。

**【請求項 6】**

請求項 1 記載の方法において、さらに、

前記イベントプロファイルと関連付けられた店舗インターフェイスを提供する工程を有するものである方法。

**【請求項 7】**

請求項 1 記載の方法において、さらに、

前記イベントプロファイルと関連付けられた種類別マーケットプレイスインターフェイスを提供する工程を有するものである方法。

**【請求項 8】**

ネットワーク化された通信を円滑にする装置であって、

複数のイベントプロファイルをソーシャル・ネットワーキング・サービス内に作成するように構成されたイベント作成モジュールと、

前記ソーシャル・ネットワーキング・サービスの複数のユーザープロファイルを前記イベントプロファイルと関連付けることにより1以上のユーザープロファイルが前記複数のイベントプロファイルに関連付けられるように構成されたチェック・イン・モジュールと、

前記ソーシャル・ネットワーキング・サービスの第1のユーザーのユーザープロファイルおよび第2のユーザーのユーザープロファイルとが1つのイベントプロファイルと関連付けられているとの決定に応答してメッセージインターフェイスを提供するように構成されたメッセージ・インターフェイス・モジュールであって、当該メッセージインターフェイスは、前記第1のユーザーが前記第2のユーザーに非公開メッセージを送信するように動作可能である、前記メッセージ・インターフェイス・モジュールと

前記イベントプロファイルと関連付けられた複数のフィルターカテゴリーを使用して前記イベントプロファイルと関連付けられた各々のユーザープロファイルを分類するように構成されたフィルターカテゴリーモジュールと、

イベント情報モジュールであって、前記イベントプロファイルと当該イベントプロファイルに関連付けられた複数のユーザープロファイルへのリンクを含むイベントプロファイルページを表示し、前記イベントプロファイルページは、前記複数のユーザープロファイルは前記複数のフィルターカテゴリーを使用して選択したものである、前記イベント情報モジュールと

を有し、

前記各モジュールは、1若しくはそれ以上の論理ハードウェアおよび実行可能コード

10

20

30

40

50

とを有し、当該実行可能コードはコンピューター可読記憶媒体に記憶されるものである、  
を有する装置。

【請求項 9】

請求項8記載の装置において、前記複数のフィルターカテゴリーは、1若しくはそれ以上のビジネスカテゴリー、交際カテゴリー、および交友カテゴリーを有するものである装置。

【請求項 10】

請求項8記載の装置において、さらに、

前記イベントプロファイルへのリンクを有する地図を表示するように構成されたイベント・マップ・モジュールを有し、当該リンクは、前記イベントプロファイルの位置に相当する地図上の位置に設定されるものである装置。10

【請求項 11】

請求項8記載の装置において、

前記メッセージインターフェイスは、前記第2のユーザーにより前記第1のユーザーからの1若しくはそれ以上のメッセージをブロックするように動作可能なメッセージフィルターを有するものである装置。

【請求項 12】

請求項8記載の装置において、さらに、

1つのユーザープロファイルについての情報を表示するように構成されたユーザープロファイル情報モジュールを有し、前記情報は、閲覧されたユーザープロファイルへの1若しくはそれ以上のリンクと、訪問者ユーザープロファイルへのリンクとを有するものである装置。20

【請求項 13】

請求項8記載の装置において、さらに、

前記少なくとも1つのユーザープロファイルが前記イベントプロファイルの1若しくはそれ以上の位置基準を満たすとの決定に応答して、複数のユーザープロファイルの少なくとも1つのユーザープロファイルを前記イベントプロファイルの物理参加者として分類するように構成された物理的参加者モジュールを有するものである装置。

【請求項 14】

請求項8記載の装置において、さらに、

前記イベントプロファイルについての情報表示されるよう構成された関連イベントモジュールを有し、前記表示される情報は、1若しくはそれ以上の関連イベントプロファイルへの1若しくはそれ以上のリンクを有するものである装置。30

【請求項 15】

請求項8記載の装置において、さらに、

前記イベントプロファイルについての情報を表示するように構成されたイベント・フィードバック・モジュールを有し、前記表示される情報は、前記イベントプロファイルについてのユーザーフィードバックを有するものである装置。

【請求項 16】

請求項8記載の装置において、さらに、

前記イベントプロファイルについての情報を広告とともに表示するように構成された広告モジュールを有するものである装置。40

【請求項 17】

コンピュータープログラム製品であって、

ネットワーク化された通信を円滑にする動作を行うために実行可能なコンピューター使用可能プログラムコードを記憶するコンピューター可読記憶媒体を有し、

前記動作は、ソーシャル・ネットワーキング・サービス内に複数のイベントプロファイルを作成することと、

前記ソーシャル・ネットワーキング・サービスの複数のユーザープロファイルを前記イベントプロファイルと関連付けることによって1以上のユーザープロファイルが前記複数

のイベントプロファイルに関連付けられるようにすることと、

前記ソーシャル・ネットワーキング・サービスの第1のユーザーのユーザープロファイルおよび第2のユーザーのユーザープロファイルが1つのイベントプロファイルと関連付けられているとの決定に応答してメッセージインターフェイスを提供することであって、当該メッセージインターフェイスは、前記第1のユーザーが前記第2のユーザーに非公開メッセージを送信するように動作可能である、前記提供することと

前記イベントプロファイルと関連付けられた複数のフィルターカテゴリーを使用して前記イベントプロファイルと関連付けられた各々のユーザープロファイルを分類することと、

イベントプロファイルページを表示することであって、前記イベントプロファイルページは、前記イベントプロファイルと当該イベントプロファイルに関連付けられた複数のユーザープロファイルへのリンクを含み、前記複数のユーザープロファイルは前記複数のフィルターカテゴリーを使用して選択したものである、前記表示することと、

を有するコンピュータープログラム製品。

#### 【請求項18】

請求項17記載のコンピュータープログラム製品において、前記複数のフィルターカテゴリーは、1若しくはそれ以上のビジネスカテゴリー、交際カテゴリー、および交友カテゴリーを有するものであるコンピュータープログラム製品。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【技術分野】

##### 【0001】

本出願は、2012年2月9日に出願された、発明者Lane A. Ekbergによる「SOCIAL SOFTWARE METHOD OF PUBLICALLY SHARING AND COLLECTING PROFILE INFORMATION AT AN EVENT OR OBJECT TARGET PROFILE」と題する米国特許仮出願第61/596,981、2012年6月27日に出願された、発明者Lane A. Ekbergによる「GEOLOCATION SOFTWARE METHOD OF SHARING USER PROFILE INFORMATION TO HARVEST SOCIAL RELEVANCE THROUGH A PROMOTED EVENT/VENUE SOCIAL POOL TARGET」と題する米国仮特許出願第61/665,163、および2012年9月18日に出願された、発明者Lane A. Ekbergによる「FORMING VIRTUAL SOCIAL ECOSYSTEMS ALONGSIDE PHYSICAL EVENT SPACE THAT GATHER GROUPS OF PEOPLE DURING AN EVENT OR ACTIVITY」と題する米国仮特許出願第61/702,374に対して利益を主張する。当該各出願は参照することによって本願に組み込まれるものとする。

##### 【0002】

本発明は、種々の実施形態で、通信に関し、特にソーシャル・ネットワーキング・サービスのユーザー同士の通信に関する。

##### 【背景技術】

##### 【0003】

数多くの人がソーシャル・ネットワーキング・サービスを使用して、個人的または仕事上の目的のためにインターネットなどのコンピューターネットワークを通じて他の人々とつながる。例えば、イベントで出会う2人が、ソーシャル・ネットワーキング・サービスを使用して、交際、交友、仕事などの関係などを続けることができる。人によっては、ソーシャル・ネットワーキング・サービスを利用して、実際にはまだ顔を合わせたことのない個人同士であってもソーシャル・ネットワーキング・サービスの別のユーザーと個人的または仕事上の関係を始めるることもできる。

##### 【0004】

ソーシャル・ネットワーキング・サービスの数多くのユーザーは、公開ユーザープロフ

10

20

30

40

50

アイルを持ち、これにより、他のユーザーが連絡をしたり、メッセージを送信したり、オンライン上の関係を始めたりすることができる。ただし、不特定多数のどのメンバーでも公開ユーザープロファイルを持つユーザーと通信できるために、ユーザーが、卑劣な、下品な、あるいは不要なメッセージを受信するリスクは高くなる。ソーシャル・ネットワーキング・サービスの他のユーザーは、非公開ユーザープロファイルを持っており、これにより、関連ユーザー同士の既存ソーシャルネットワークのメンバー以外からの通信をブロックできる。非公開ユーザープロファイルは不要なメッセージをブロックできるが、新しい知人からの必要なメッセージをユーザーが受信できなくなることもある。

#### 【0005】

加えて、知り合ったばかりの人のユーザープロファイルをソーシャル・ネットワーキング・サービス上で見つけるのは、困難なことがある。ユーザー数に応じて、ユーザープロファイル検索は、公開ユーザープロファイルを大量に返すことがあり、知り合ったばかりの個人同士が、その検索を効果的に絞れるほど、お互いのことを十分に知らないことがある。また、ユーザープロファイル検索は、非公開ユーザープロファイルを検索結果から除外することがある。

この出願の発明に関連する先行技術文献情報としては、以下のものがある（国際出願日以降国際段階で引用された文献及び他国に国内移行した際に引用された文献を含む）。

#### (先行技術文献)

##### (特許文献)

(特許文献 1 )	米国特許第 7 , 310 , 676 号明細書	20
(特許文献 2 )	米国特許第 7 , 593 , 740 号明細書	
(特許文献 3 )	米国特許第 7 , 809 , 805 号明細書	
(特許文献 4 )	米国特許第 8 , 667 , 009 号明細書	
(特許文献 5 )	米国特許第 8 , 380 , 801 号明細書	
(特許文献 6 )	米国特許出願公開第 2009 / 0070334 号明細書	
(特許文献 7 )	米国特許出願公開第 2010 / 0153284 号明細書	
(特許文献 8 )	米国特許出願公開第 2011 / 0302263 号明細書	
(特許文献 9 )	米国特許出願公開第 2011 / 0307399 号明細書	
(特許文献 10 )	米国特許出願公開第 2008 / 0120396 号明細書	
(特許文献 11 )	米国特許出願公開第 2013 / 0198008 号明細書	30
(特許文献 12 )	米国特許出願公開第 2007 / 0282621 号明細書	
(特許文献 13 )	米国特許出願公開第 2011 / 0307339 号明細書	
(特許文献 14 )	米国特許出願公開第 2007 / 0162547 号明細書	
(特許文献 15 )	米国特許出願公開第 2011 / 0302504 号明細書	
(特許文献 16 )	米国特許出願公開第 2011 / 0276396 号明細書	
(特許文献 17 )	米国特許出願公開第 2012 / 0030282 号明細書	
(特許文献 18 )	米国特許出願公開第 2012 / 0150960 号明細書	
(特許文献 19 )	米国特許出願公開第 2013 / 0036165 号明細書	
(特許文献 20 )	韓国公開特許第 10 - 2010 - 0102696 号公報	
(非特許文献)		40

##### (非特許文献)

(非特許文献 1 )	P C T / U S 2013 / 025641 , International Search Report and Written Opinion , May 29 , 2013
(非特許文献 2 )	P C T / U S 2014 / 062285 , International Search Report and Written Opinion , January 29 , 2015

#### 【発明の概要】

#### 【課題を解決するための手段】

#### 【0006】

ネットワーク化された通信を円滑にするための方法を開示する。一実施形態において、

前記方法は、イベントプロファイルをソーシャル・ネットワーキング・サービス内に作成する工程を含む。いくつかの実施形態において、前記方法は、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービスの複数のユーザープロファイルをイベントプロファイルと関連付ける工程を含む。特定の実施形態において、前記方法は、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービスの第1のユーザーのユーザープロファイルおよび第2のユーザーのユーザープロファイルが前記イベントプロファイルと関連付けられているとの決定に応答してメッセージインターフェイスを提供する工程を含む。さらに他の実施形態において、前記メッセージインターフェイスは、前記第1のユーザーが非公開メッセージを前記第2のユーザーに送信するように動作可能である。

【0007】

10

一実施形態において、前記方法は、前記イベントプロファイルと関連付けられた複数のフィルターカテゴリーを使用して、複数のユーザープロファイルの各ユーザープロファイルを分類する工程を含む。特定の実施形態において、前記複数のフィルターカテゴリーは、ビジネスカテゴリー、交際カテゴリー、および／または交友カテゴリーを含む。さらに他の実施形態において、前記複数のフィルターカテゴリーは、前記イベントプロファイルと関連付けられたビジネス、場所、物品、および／またはサービスを促進するために管理者によって定義可能な宣伝カテゴリーを含む。

【0008】

20

一実施形態において、前記方法は、前記イベントプロファイルについての情報を表示する工程を含む。特定の実施形態において、前記表示された情報は、前記複数のユーザープロファイルのうちの1若しくはそれ以上のユーザープロファイルへの1若しくはそれ以上のリンクを含む。一実施形態において、前記方法は、前記イベントプロファイルと関連付けられた複数のフィルターカテゴリーを使用して前記1若しくはそれ以上のリンクを分類する工程を含む。

【0009】

30

一実施形態において、複数のユーザープロファイルを前記イベントプロファイルと関連付ける工程は、少なくとも1つのユーザープロファイルの位置が前記イベントプロファイルの1若しくはそれ以上の位置基準を満たすと決定する工程を含む。いくつかの実施形態において、前記非公開メッセージは、電子メールメッセージ、チャットメッセージ、ビデオメッセージ、および／または音声メッセージを含んでいてもよい。特定の実施形態において、前記方法は、前記イベントプロファイルと関連付けられた店舗インターフェイスを提供する工程を含む。特定の実施形態において、前記方法は、前記イベントプロファイルと関連付けられた種類別マーケットプレイスインターフェイスを提供する工程を含む。

【0010】

40

ネットワーク化された通信を円滑にするための装置を開示する。一実施形態において、イベント作成モジュールは、イベントプロファイルをソーシャル・ネットワーキング・サービス内に作成するように構成されている。いくつかの実施形態において、チェック・イン・モジュールは、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービスの複数のユーザープロファイルを前記イベントプロファイルと関連付けるように構成されている。特定の実施形態において、メッセージインターフェイスは、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービスの第1のユーザーのユーザープロファイルおよび第2のユーザーのユーザープロファイルが前記イベントプロファイルと関連付けられているとの決定に応答してメッセージインターフェイスを提供するように構成されている。さらに他の実施形態において、前記メッセージインターフェイスは、前記第1のユーザーが非公開メッセージを前記第2のユーザーに送信するように動作可能である。特定の実施形態において、前記イベント作成モジュール、前記チェック・イン・モジュール、および前記メッセージ・インターフェイス・モジュールは、論理ハードウェアおよび／または実行可能コードを含む。さらなる実施形態において、前記実行可能コードはコンピューター可読記憶媒体に記憶される。

【0011】

一実施形態において、フィルター・カテゴリー・モジュールは、前記イベントプロファ

50

イルと関連付けられた複数のフィルターカテゴリーを使用して、複数のユーザープロファイルの各ユーザープロファイルを分類するように構成されている。いくつかの実施形態において、前記複数のフィルターカテゴリーは、ビジネスカテゴリー、交際カテゴリー、および／または交友カテゴリーを含む。特定の実施形態において、イベント地図モジュールは、前記イベントプロファイルへのリンクを含む地図を表示するように構成されている。さらに他の実施形態において、前記リンクは、前記イベントプロファイルの位置に相当する地図上の位置に設定されている。いくつかの実施形態において、前記メッセージインターフェイスは、前記第2のユーザーが前記第1のユーザーからの1若しくはそれ以上のメッセージをブロックするように動作可能なメッセージフィルターを含む。

#### 【0012】

10

一実施形態において、ユーザープロファイル情報モジュールは、1つのユーザープロファイルについての情報を表示するように構成されている。さらに他の実施形態において、前記情報は、閲覧したユーザープロファイルへのリンクおよび／または訪問者ユーザープロファイルへのリンクを含む。いくつかの実施形態において、物理的参加者モジュールは、前記少なくとも1つのユーザープロファイルが前記イベントプロファイルの1若しくはそれ以上の位置基準を満たすとの決定に応答して、複数のユーザープロファイルの少なくとも1つのユーザープロファイルを前記イベントプロファイルの物理参加者として分類するように構成されている。

#### 【0013】

20

一実施形態において、関連イベントモジュールは、イベントプロファイルについての情報を表示するように構成されている。さらに他の実施形態において、前記表示された情報は、1若しくはそれ以上の関連イベントプロファイルへの1若しくはそれ以上のリンクを含む。いくつかの実施形態において、イベント・フィードバック・モジュールは、前記イベントプロファイルについての情報を表示するように構成されている。さらなる実施形態において、前記表示された情報は、前記イベントプロファイルについてのユーザーフィードバックを含む。特定の実施形態において、広告モジュールは、前記イベントプロファイルについての情報を広告とともに表示するように構成されている。

#### 【0014】

30

ネットワーク化された通信を円滑にする動作を実行するためのコンピュータープログラム製品を開示する。特定の実施形態において、前記コンピュータープログラム製品は、前記コンピュータープログラム製品の前記動作を行うために実行可能なコンピューター使用可能プログラムコードを記憶するコンピューター可読記憶媒体を含む。一実施形態において、前記動作は、イベントプロファイルをソーシャル・ネットワーキング・サービス内に作成することを含む。いくつかの実施形態において、前記動作は、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービスの複数のユーザープロファイルを前記イベントプロファイルと関連付けることを含む。特定の実施形態において、前記動作は、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービスの第1のユーザーのユーザープロファイルおよび第2のユーザーのユーザープロファイルが前記イベントプロファイルと関連付けられているとの決定に応答してメッセージインターフェイスを提供することを含む。さらに他の実施形態において、前記メッセージインターフェイスは、前記第1のユーザーが非公開メッセージを前記第2のユーザーに送信するように動作可能である。一実施形態において、前記動作は、前記イベントプロファイルと関連付けられた複数のフィルターカテゴリーを使用して複数のユーザープロファイルの各ユーザープロファイルを分類することを含む。さらに他の実施形態において、前記複数のフィルターカテゴリーは、ビジネスカテゴリー、交際カテゴリー、および／または交友カテゴリーを含む。

#### 【図面の簡単な説明】

#### 【0015】

40

本開示の利点を理解しやすくするために、簡潔に前述した本開示のより具体的な説明は、本書添付図面に示されている具体的な実施形態の援用によって表現されている。これらの図面は代表的な実施形態のみを示すため、本開示の範囲を限定するものとみなされない

50

ものと理解し、本開示は、以下の当該添付図面の使用を通じて、付加的な特殊性および詳細とともに記述され、説明されている。

【図1】図1は、ネットワーク化された通信を円滑にするためのシステムの一実施形態を示す略ブロック図である。

【図2】図2は、ネットワーク化された通信を円滑にするための装置の一実施形態を示す略ブロック図である。

【図3】図3は、ネットワーク化された通信を円滑にするための装置の別の実施形態を示す略ブロック図である。

【図4】図4は、ネットワーク化された通信を円滑にするための方法の一実施形態を示す略フロー・チャート図である。 10

【図5】図5は、ネットワーク化された通信を円滑にするための方法の別の実施形態を示す略フロー・チャート図である。

【図6】図6は、イベントベース通信の一実施形態を示すウェブページの例である。

【図7】図7は、イベントベース通信の別の実施形態を示すウェブページの例である。

#### 【発明を実施するための形態】

##### 【0016】

本開示の観点は、システム、方法、またはコンピュータープログラム製品として具現化できる。したがって、本開示の態様は、完全にハードウェア実施形態、完全にソフトウェア実施形態（ファームウェア、常駐ソフトウェア、マイクロコードなどを含む）、または本明細書ではどれも「回路」、「モジュール」、または「システム」というソフトウェアとハードウェアの態様を組み合わせた実施形態といった形にすることができる。さらに、本開示の態様は、1若しくはそれ以上のコンピューター可読記憶媒体に具現化されたコンピュータープログラム製品の形を取ることができて、前記1若しくはそれ以上のコンピューター可読記憶媒体は、そこに具現化されたコンピューター可読プログラムコードを有する。 20

##### 【0017】

本明細書に記述されている前記機能ユニットの多くは、実施例の独立性をより具体的に強調するために、モジュールと呼ばれる。例えば、モジュールは、カスタムのVLSI回路またはゲートアレイ、ロジックチップなどの既製の半導体、トランジスタ、または他の個別部品を有するハードウェア回路として実装できる。モジュールはまた、フィールドプログラマ可能ゲートアレイ、プログラム可能アレイロジック、プログラム可能ロジックデバイス等のプログラム可能ハードウェアデバイスに実装できる。 30

##### 【0018】

また、種々のプロセッサーで実行するために複数のモジュールをソフトウェアに実装してもよい。特定されたモジュールの実行可能コードは、例えば、コンピューター命令の1若しくはそれ以上の物理的または論理的ブロックを有することができ、これは、例えば、オブジェクト、プロシージャ、または関数としてまとめることができる。しかし、特定されたモジュールの実行可能形式は、物理的にまとめて置かれている必要はないけれども、異なる場所に記憶された異種の命令を有することができ、理論的にまとめられたときには、そのモジュールを有し、そのモジュールの所定の目標を達成する。 40

##### 【0019】

実際に、実行可能コードのモジュールは、単一の命令または複数の命令であってよく、複数の異なるコードセグメントにわたって、異なるプログラム間で、複数の記憶デバイスに分散してもよい。同様に、操作データはモジュール内に特定され、ここに示されてもよく、任意の適切な形で具現化されていてもよく、任意の適切なタイプのデータ構造内に編成されてもよい。前記操作データは、単一のデータセットとして収集することができるか、または異なる場所にわたって分散することができて、これには異なる記憶デバイスにわたることが含まれ、さらに少なくとも部分的に、単にシステムまたはネットワークの電気信号として存在してもよい。モジュールまたはモジュールの一部がソフトウェアに実装されている場合、そのソフトウェア部分は1若しくはそれ以上のコンピューター可読記憶媒 50

体に記憶される。

#### 【0020】

1若しくはそれ以上のコンピューター可読記憶媒体のどの組み合わせでも活用できる。コンピューター可読記憶媒体は、例えば、電子、磁気、光学、電磁気、赤外線、または半導体システム、装置、またはデバイス、またはこれらの適切な組み合わせであってよいが、これらに限定されない。

#### 【0021】

前記コンピューター可読記憶媒体のより具体的な例（包括的でないリスト）は、ポータブル・コンピューター・ディスク、ハードディスク、ランダム・アクセス・メモリー（RAM）、読み出し専用メモリー（ROM）、消去およびプログラム可能な読み出し専用メモリー（EPROMまたはフラッシュメモリー）、ポータブル・コンパクト・ディスク読み出し専用メモリー（CD-ROM）、デジタル多用途ディスク（DVD）、ブルーレイディスク、光学記憶デバイス、磁気テープ、ベルヌーイ（Bernoulli）ドライブ、磁気ディスク、磁気記憶デバイス、パンチカード、集積回路、他のデジタル処理装置メモリーデバイス、またはこれらの適切な組み合わせを含むが、伝播信号は含まれない。本書の範囲において、コンピューター可読記憶媒体は、命令実行システム、装置、またはデバイスが使用するまたはそれと関連するプログラムを含めることができる、または記憶することができる有形的表現媒体であってよい。

10

#### 【0022】

本開示の態様の操作を実行するためのコンピューター・プログラム・コードは、Java（登録商標）、Smalltalk、C++などのオブジェクト指向プログラミング言語、および「C」プログラミング言語または同類のプログラミング言語などの慣用の手続き型プログラミング言語を含む、1若しくはそれ以上のプログラミング言語のどの組み合わせでも記述できる。前記プログラムコードは、スタンドアロン型ソフトウェアパッケージとして、そのユーザーのコンピューターで完全に若しくは部分的に実行するか、ユーザーのコンピューターで部分的におよび遠隔コンピューターで部分的に実行するか、または遠隔コンピューター若しくはサーバーで完全に実行してよい。後者のシナリオにおいて、前記遠隔コンピューターは前記ユーザーのコンピューターに、ローカル・エリア・ネットワーク（LAN）またはワイド・エリア・ネットワーク（WAN）を含む任意の種類のネットワークを介して接続してよく、またはその接続が外部コンピューターに行われてもよい（例えば、インターネット・サービス・プロバイダーを利用したインターネットを介する）。

20

#### 【0023】

本明細書全体にわたって参照されている「一実施形態」、「実施形態」、または同様用語は、その実施形態に関連して記述されている具体的構成要件、構造、または特徴が、本開示の少なくとも一実施形態に含まれていることを意味する。したがって、本明細書の全体にわたる前記語句「一実施形態において」、「実施形態において」、および同類用語の表現は、必ずしもそうではないが、どれも同一の実施形態を示し、明記がない限り、「1若しくはそれ以上であるがそれがすべてではない実施形態」ということを意味する。「含む」、「有する」、「持つ」という用語およびこれらの活用形は、明記がない限り、「これに限定されるものではない」ということを意味する。列挙されたアイテムの一覧は、明記がない限り、当該アイテムの一部またはすべてが相互排他的および／または相互包括的なであることを意味するものではない。用語が単数形でも、明記がない限り、「1若しくはそれ以上の」を意味する。

30

#### 【0024】

さらに、本開示の前記構成要件、構造、または特徴は、適切な任意の仕方で1若しくはそれ以上の実施形態に組み合わせることができる。以下の説明において、プログラミング、ソフトウェアモジュール、ユーザー選定、ネットワーク取引、データベース照会、データベース構造、ハードウェアモジュール、ハードウェア回路、ハードウェアチップなどの例とともに、本開示の実施形態を完全に理解するための種々の具体的詳細が提供される。

40

50

ただし、本開示は、1若しくはそれ以上の前記具体的詳細を用いずに、または他の方法、構成部品、材料、その他を用いて、実行することができる。他の例では、本開示の観点が不明瞭になることを回避するために、周知の構造、材料、または操作については詳細に図示または記述していない。

#### 【0025】

本開示の観点は、本開示の実施形態に基づく方法、装置、システム、およびコンピュータープログラム製品の略フローチャート図および／または略ブロック図を参照しながら説明されている。当然のことながら、略フローチャート図および／または略ブロック図の各ブロック、および略フローチャート図および／または略ブロック図のブロックの組み合わせは、コンピュータープログラム命令によって実行することができる。これらのコンピュータープログラム命令は、汎用コンピューター、専用コンピューター、または他のプログラム可能データ処理装置のプロセッサーに与えることができて、前記コンピューターまたは他のプログラム可能データ処理装置のプロセッサーを通じて実行する前記命令が、略フローチャート図および／または略ブロック図のブロックまたは複数のブロックに指定された機能／動作を実行する手段を作り出すような機構を生む。10

#### 【0026】

これらのコンピュータープログラム命令は、コンピューター、他のプログラム可能データ処理装置、または他のデバイスを指示できるコンピューター可読記憶媒体に記憶することができて、前記コンピューター可読記憶媒体に記憶された前記命令が、前記略フローチャート図および／または略ブロック図のブロックまたは複数のブロックに指定された機能／動作を実行する命令を含む製品を生むような特定の仕方で機能する。前記コンピュータープログラム命令は、コンピューター、他のプログラム可能データ処理装置、または他のデバイスにロードすることができ、前記コンピューター、他のプログラム可能装置または他のデバイスで実行するための一連の操作ステップを生じさせて、前記コンピューターまたは他のプログラム可能装置で実行する前記命令が、前記フローチャートおよび／またはブロック図のブロックまたは複数のブロックで指定された機能／動作を実行するためのプロセスを提供するように、コンピューター実行型プロセスを生むことができる。20

#### 【0027】

本図面の前記略フローチャート図および／または略ブロック図は、本開示の種々の実施形態に基づく装置、システム、方法およびコンピュータープログラム製品の可能な実装の構成、機能、および操作を示す。これについて、前記略フローチャート図および／または略ブロック図の各ブロックは、モジュール、セグメント、またはコードの一部を表すことができ、これは、その指定された理論的機能を実行する1若しくはそれ以上の実行可能命令を有する。30

#### 【0028】

代替の実装によっては、そのブロックに記載された前記機能が図に記載されている順番に起こらなくてもよいことに留意されたい。例えば、関係している機能に応じて、連続する2ブロックが、実際に、実質的に同時に実行されてよく、または前記2ブロックが場合によっては逆の順番で実行されてもよい。他のステップまたは方法は、その説明中の図面の1若しくはそれ以上のブロックへの機能、理論、または効果、またはその一部に相当するものと考えることができる。40

#### 【0029】

種々の矢印タイプおよび線タイプがフローチャートおよび／またはブロック図に用いられているが、これらはそれに対応する実施形態の範囲を制限するものではないことを理解されたい。実際に、いくつかの矢印または他の接続記号は、そこに図示されている実施形態の理論フローのみを示すことに用いられている。例えば、矢印は、図示された実施形態に挙げられているステップ間の未指定期間の待機または監視を示すことができる。前記ブロック図および／またはフローチャート図の各ブロック、および前記ブロック図および／またはフローチャート図の複数のブロックの組み合わせは、その指定された機能若しくは動作、または特殊目的のハードウェアとコンピューター命令の組み合わせを実行する特殊50

目的のハードウェアベースシステムによって実行することができることにも留意されたい。

#### 【0030】

各図の要素の説明は、手順図の要素を示すことができる。同類の数字は、すべての図の同類の要素を示し、これには同類の要素の代替実施形態が含まれる。

#### 【0031】

以下の詳細な説明において、添付図面を参照していて、その一部を形成する。前述の概要は、説明の目的で供するものであり、いかようにも限定するものではない。前記説明の観点、実施形態、および前述の特徴に加えて、さらに観点、実施形態、および特徴はその図面および以下の詳細な説明を参照することにより明らかになる。

10

#### 【0032】

図1は、ネットワーク化された通信を円滑にするためのシステム100の一実施形態を示す。前記図示の実施形態において、前記システム100は、サーバー106、ならびにコンピューターネットワーク108、およびブラウザ112を含むクライアント110上のソーシャル・ネットワーキング・サービス104内で動作するイベントベース通信装置102を含み、これらは後述されている。

#### 【0033】

一実施形態において、前記システム100は、イベントベース通信装置102を含む。さらに他の実施形態において、前記イベントベース通信装置102は、ソーシャル・ネットワーキング・サービス104内で動作し、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104のユーザー同士の通信を円滑にする。前記イベントベース通信装置102は、図2および図3に関係して、より詳細に後述されている。

20

#### 【0034】

一実施形態において、ソーシャル・ネットワーキング・サービス104は、コンピューターネットワーク108上の通信を円滑にすることができ、それによってそのユーザー同士のオンライン上または現実の関係を円滑にする。種々の実施形態において、ソーシャル・ネットワーキング・サービス104は、交際関係、友人関係、ビジネス上の関係、または同様のもの、およびこれらの組み合わせなど、種々の関係を円滑にすることができる。例えば、一実施形態において、ソーシャル・ネットワーキング・サービス104は友人関係を円滑にすることに焦点を絞ることができる。別の実施形態において、ソーシャル・ネットワーキング・サービス104は、ビジネス上の関係を円滑にすることに焦点を絞ることができる。さらに別の実施形態において、ソーシャル・ネットワーキング・サービス104は、異なる種類の種々の関係を円滑にできる。

30

#### 【0035】

一実施形態において、ソーシャル・ネットワーキング・サービス104は、ユーザーが、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104内の関係を築くことを可能にする。種々の実施形態において、種々のソーシャル・ネットワーキング・サービス104は、「友人」、「コネクション」、「フォロワー」、または同様のものなどの用語を用いて関係ユーザーを表現することができる。さらなる実施形態において、ユーザーの「ソーシャルネットワーク」は、前記ユーザーのソーシャルネットワークの図式が網のような構造を形成するように、前記ユーザーの関係ユーザー、そのユーザーらの関係ユーザーなどを示すことができる。前記用語「ソーシャルネットワーク」および「ソーシャル・ネットワーキング・サービス」は、ビジネス上のソーシャルネットワーク、個人的なソーシャルネットワーク、またはビジネス上および個人的関係の組み合わせるソーシャルネットワークを示しているかどうかにかかわらず、この網のような社会構造に適用することができる。別の実施形態において、ソーシャルネットワークは、ソーシャル・ネットワーキング・サービス104を使用して通信する、ユーザーのビジネス上および/または個人的連絡先のネットワークを示すことができ、その連絡先が前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104内の関係として指定されていない場合であっても、そうできる。

40

#### 【0036】

50

一実施形態において、ソーシャル・ネットワーキング・サービス104は、一般公開することができる。別の実施形態において、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104は、限定の会員に公開されていてもよい。例えば、特定の実施形態において、ソーシャル・ネットワーキング・サービス104は、特定の大学の学生のみに公開できる。別の実施形態において、ソーシャル・ネットワーキング・サービス104は、企業イントラネット上の通信を円滑にすることができ、前記企業の従業員のみがアクセスできるものであってもよい。本開示に照らして、種々のタイプのソーシャル・ネットワーキング・サービス104が可能であることは明らかである。

#### 【0037】

前記図示の実施形態において、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104は、サーバー106上で動作する。別の実施形態において、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104は、複数のサーバー106を使用することができる。種々の実施形態において、サーバー106は、メインフレームコンピューター、ブレードサーバー、ワークステーション、デスクトップまたは他のコンピューター、または同様のものを含むことができる。前記サーバー106は、一実施形態において、複数のオペレーティングシステムのインスタンスで分割されたメインフレームなどの複数のプロセッサーを含むことができる。別の実施形態において、前記サーバー106は、単一のプロセッサーを含むことができる。さらに他の実施形態において、前記サーバー106は、ストレージ・エリア・ネットワークなどの1若しくはそれ以上のサブシステムを含むことができる。前記サーバー106は、ネットワークを通じてアクセス可能な内部ストレージまたは外部ストレージにアクセスすることができる。一実施形態において、前記サーバー106は、ソーシャル・ネットワーキング・サービス104を提供する会社によって管理されているサーバーファームの一部であってもよい。本開示に照らして、種々のサーバー106をソーシャル・ネットワーキング・サービス104とともに使用できることは明らかである。

#### 【0038】

前記図示の実施形態において、前記システム100は、前記サーバー106およびクライアント110と通信しているコンピューターネットワーク108を含む。一実施形態において、前記コンピューターネットワーク108は、単一のネットワークを含むことができる。別の実施形態において、前記コンピューターネットワーク108は、相互に連結している複数のネットワークを含むことができる。種々の実施形態において、前記コンピューターネットワーク108は、ローカル・エリア・ラン（「LAN」）、ワイド・エリア・ネットワーク（「WAN」）、ワイアレスネットワークなどの種々のネットワークタイプ、ならびにネットワークタイプの組み合わせを含むことができる。特定の実施形態において、前記コンピューターネットワーク108は、インターネットなどのパブリックネットワークでもよい。別の実施形態において、前記コンピューターネットワーク108は、パブリックネットワーク上の仮想プライベートネットワークでもよい。また別の実施形態において、前記コンピューターネットワーク108は、企業イントラネットなどのプライベートネットワークでもよい。

#### 【0039】

一実施形態において、前記コンピューターネットワーク108は、前記サーバー106、ルーター、スイッチ、ケーブル、および他の通信ハードウェアなどのハードウェアを含むことができる。さらに他の実施形態において、前記コンピューターネットワーク108はまた、ハード・ディスク・ドライブ、光学ドライブ、不揮発性メモリ、ランダム・アクセス・メモリ（「RAM」）などのコンピューター可読記憶媒体を含むことができる。本開示に照らして、種々のコンピューターネットワーク108、およびコンピューターネットワーク108のコンポーネントが明らかである。

#### 【0040】

前記図示の実施形態において、前記システム100はクライアント110を含む。一実施形態において、ユーザーは、前記クライアント110を用いて前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104にアクセスし、前記コンピューターネットワーク108上の

10

20

30

40

50

前記サーバー 106 と通信する。種々の実施形態において、前記クライアント 110 は、デスクトップコンピューター、ラップトップコンピューター、ノートブック、タブレット、携帯電話などでもよい。1つのみのクライアント 110 が図 1 に示されているが、さらに他の実施形態において、複数のクライアント 110 が含まれていてもよい。例えば、一実施形態において、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 の各ユーザーは、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 にアクセスするために、前記コンピューターネットワーク 108 に接続された別のクライアント 110 を使用することができる。別の実施形態において、1人のユーザーが複数のクライアント 110 を使用してもよい。例えば、ユーザーは、自宅でデスクトップコンピューターをクライアント 110 として使用したり、自宅外で携帯電話をクライアント 110 として使用したりして、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 にアクセスしてもよい。さらに別の実施形態において、複数のユーザーが家庭用コンピューターなどの共有クライアント 110 を使用して、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 にアクセスしてもよい。本開示に照らして、種々のデバイスが、クライアント 110 としての使用に適していることは明らかである。  
10

#### 【0041】

一実施形態において、前記システム 100 は、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 からユーザーに情報を提示するブラウザ 112 を含む。前記図示の実施形態において、前記ブラウザ 112 は前記クライアント 110 にインストールされたアプリケーションである。別の実施形態において、前記ブラウザ 112 は前記クライアント 110 の外部にあるが、前記クライアント 110 によってアクセスできる。例えば、種々の実施形態において、前記ブラウザ 112 はサーバー 106、ストレージ・エリア・ネットワーク、クラウド・ストレージなどにあってもよい。一実施形態において、前記ブラウザ 112 は、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 から、または他のソースから情報を表示する汎用アプリケーションであってもよい。例えば、さらに他の実施形態において、前記ブラウザ 112 は、ウェブブラウザであってよく、これは、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 から情報をウェブページとして表示し、他のウェブページを表示することも可能である。別の実施形態において、前記ブラウザ 112 は、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 専用に用いられる特定の目的のアプリケーションであってもよい。例えば、前記クライアント 110 が携帯電話である場合、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 は、前記ブラウザ 112 が携帯電話のウェブブラウザであるときに基本機能を提供することができるが、前記ブラウザ 112 が前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 専用のモバイルアプリのときには拡張機能を提供することができる。本開示に照らして、種々のサーバー 112 を前記システム 110 とともに使用できることが明らかである。  
20  
30

#### 【0042】

前記開示のブラウザ 112 は、情報を視覚形態で表示するが、情報を非視覚形態で表現するために、他のタイプのブラウザ 112 を他の実施形態において用いてもよい。例えば、視覚障がい者用のブラウザ 112 は、情報を表示する代わりに、またはスクリーンへの情報表示に加えて、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 の情報を音声で読み上げるスクリーンリーダーを含むことができる。わかりやすくするために、本書に用いている「表示」という用語は、視覚および／または非視覚形態の情報の表示を意味し、視覚的表示に制限することを意図していない。  
40

#### 【0043】

図 2 は、ネットワーク化された通信を円滑にするための装置 200 の一実施形態を示す。前記図示の実施形態において、前記装置は、イベントベース通信装置 102 を含み、この通信装置には後述のように、イベント作成モジュール 202、チェック・イン・モジュール 204、およびメッセージ・インターフェイス・モジュール 206 が含まれる。

#### 【0044】

一般に、前記イベントベース通信装置 102 は、メッセージインターフェイスを提供す  
50

るので、ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 のユーザーは同一のイベントに参加している場合に非公開でお互いと通信できる。一実施形態において、前記イベントベース通信装置 102 は、ユーザーが他のユーザーまたはイベントを位置別に見つけられる位置ベースのソーシャル検索を提供することによって、ネットワーク化された通信を円滑にすることができる。ネットワーク化された通信をイベント参加者間で円滑にすることによって、ユーザーは、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 の完全公開ユーザープロファイルの使用を回避できるため、したがって、不特定多数のメンバーから卑劣な、下品な、または不要なメッセージを受信するリスクの増大を回避できる。前記イベントベース通信装置 102 によって、イベント参加者は、ユーザープロファイル検索を使用して前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 でお互いをより簡単に見つけることもできる。これは、イベント参加者のユーザープロファイルがそのイベントとリンクしているためである。10

#### 【0045】

一実施形態において、前記イベント作成モジュール 202 は、イベントプロファイルを前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 内に作成するよう構成されている。イベントプロファイルは、ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 内の仮想オブジェクト、ウェブページ、インターフェイス、ポータル、タグ、コードなどであってよく、これは、イベントと一致する。種々の実施形態において、「イベント」は、出来事、場所、仮想イベントなどであってよく、したがって、イベントに参加する人が物理的に存在しなくてもよい。例えば、一実施形態において、イベントは、展示会、コンサート、カップリングパーティーなどの特定の時刻と場所で行われる現実のイベントであってもよい。ただし、別の実施形態において、イベントは、仮想会議などのオンライン集会、またはさまざまな場所のイベント参加者同士のオンライン会話であってもよい。1 タイプのイベントは、特定の実施形態において、場所であってもよい。例えば、イベントは、市町村であってもよく、したがって、その参加者は市民であって、または山であってもよく、したがって、その参加者はその山の登山またはハイキングに関心がある人々である。さらに他の実施形態において、仮想イベントは、具体的な時刻や場所がなくてもよく、単に、その参加者の何らかの関連を示すものであってもよい。例えば、前記イベントは、組織であってもよく、したがって、その参加者は組織のメンバーであって、またはブランドであってもよく、したがって、その参加者はそのブランドで販売されている製品を好むと示した人々である。本開示に照らして、前記イベント作成モジュール 202 がイベントプロファイルを作成できることについて、他のタイプのイベントが可能であることは明らかである。20

#### 【0046】

一実施形態において、前記イベント作成モジュール 202 は、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 のユーザーからそのイベントについての情報を受信することに応答して前記イベントプロファイルを作成する。例えば、交際イベントを企画しているバー やクラブの所有者が、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 のウェブサイトにあるフォームに入力すると、前記イベント作成モジュール 202 によって、その出会い系イベントのイベントプロファイルが作成される。別の実施形態において、前記イベント作成モジュール 202 は、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 の管理者からそのイベントについての情報を受信することに応答して前記イベントプロファイルを作成する。例えば、管理者が、展示会または人気の高い場所などの周知のイベントについての情報を前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 に事前設定すると、前記イベント作成モジュール 202 によって、その事前設定されたイベントのイベントプロファイルが作成される。さらに他の実施形態において、前記イベント作成モジュール 202 は、既存ユーザーまたは管理者の介入がなくても、情報を受信することに応答してイベントプロファイルを作成するよう構成することができる。例えば、特定の実施形態において、クルーズ船の旅程を見つけるために前記イベント作成モジュール 202 をインターネットに接続して、各クルーズのイベントプロファイルを自動的に作成することができる。別の実施形態において、前記イベント作成モジュール 202 は情報を市町村イベント304050

カレンダーなどのオンライン・イベント・カレンダーから読み込んで、そのカレンダーのイベントのイベントプロファイルを自動的に作成することができる。

#### 【0047】

一実施形態において、前記イベント作成モジュール202は、複数のイベントタイプ内で各イベントプロファイルを分類することができる。種々の実施形態において、図3を参照して後述されている前記イベント情報モジュール308または前記イベント地図モジュール310などの他のモジュール、または同類のモジュールは、そのイベントについての情報とともに前記イベントタイプを表示することができるか、またはユーザーが、リストまたはイベントの他の表示をイベントタイプでフィルターすることができる。イベントタイプは、公開イベント、非公開イベント、野外イベント、家族イベント、ブランドスポンサー型イベント、仮想イベント、ゲストブックイベント、目標イベント、遺失物取扱イベントなどを含む。本開示に照らして、種々のイベントタイプをイベントプロファイルの分類に使用できることが明らかである。10

#### 【0048】

一実施形態において、前記チェック・イン・モジュール204は、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104の複数のユーザープロファイルを、前記イベント作成モジュール202によって作成されたイベントプロファイルで分類するよう構成されている。一実施形態において、前記チェック・イン・モジュール204は、ユーザーが前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104用のウェブサイト、モバイルアプリなどのボタンまたはリンクを使用して、そのイベントに「チェックイン」すると、ユーザープロファイルを前記イベントプロファイルと関連付けることができる。特定の実施形態において、前記チェック・イン・モジュール204は、自動チェック・イン・プロセスを用いることによりユーザープロファイルを前記イベントプロファイルと関連付けることができる。例えば、前記クライアント110が、そのユーザーの場所を提供すると、図3のロケーション・チェック・イン・モジュール302を参照して後述しているように、そのユーザーは、自分の位置に基づくイベントに自動的にチェックインすることができる。さらに他の実施形態において、前記チェック・イン・モジュール204は、チェックインを参照して前述しているように、ユーザーが、手作業でまたは自動的に、そのイベントから「チェックアウト」すると、そのユーザーのユーザープロファイルをそのイベントプロファイルから切り離すことができる。20

#### 【0049】

ユーザープロファイルは、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104のユーザーによって制御または管理されている仮想オブジェクト、ページ、インターフェイス、ポータル、タグ、コードなどであってもよい。種々のソーシャル・ネットワーキング・サービス104において、ユーザープロファイルは、趣味、仕事上の関心など、そのユーザーについての情報を含むまたは参照することができる。ただし、他の実施形態において、ユーザープロファイルは、そのユーザー以外についての情報を含むまたは参照することができる。例えば、一実施形態において、製品ベンダーは、個人ユーザープロファイル、およびその製品の対象ユーザープロファイルを含む複数のユーザープロファイルで展示会にチェックインすることができる。種々の実施形態において、ユーザープロファイルは、ワイアレスネットワーク、投票、美術館の展示品、そのユーザー以外の人、新聞紙、雑誌、写真、記事、車、動物、家、経路、史的建造物、製品、遺失物取扱場所などの種々の物理または仮想オブジェクトについての情報を含むまたは参照することができる。30

#### 【0050】

前記イベントベース通信装置102はユーザープロファイル間の通信を円滑にするので、オブジェクト（またはそのユーザー以外の主体）用のユーザープロファイルは、ユーザーの通信を分類することに有用である。例えば、複数の製品を持つベンダーは、異なる製品用の複数のユーザープロファイルを使用して展示会イベントにチェックインし、どのメッセージがどの製品についてかを追跡することができる。

#### 【0051】

50

一実施形態において、前記メッセージ・インターフェイス・モジュール206は、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104の第1のユーザーが前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104の第2のユーザーに非公開メッセージを送信するために操作できるメッセージインターフェイスを提供するように構成されている。非公開メッセージを送信することによって、イベント参加者は、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104の他のユーザーに閲覧されることなく、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104上で一対一の会話をすることができる。さらに他の実施形態において、前記メッセージ・インターフェイス・モジュール206は、前記チェック・イン・モジュール204が第1のユーザーのユーザープロファイルと第2のユーザーのユーザープロファイルとを同一のイベントプロファイルと関連付けたとの判断に応答して、前記メッセージインターフェイスを提供することができる。2人のユーザーが同一のイベントにチェックインしているとの判断に応答してメッセージインターフェイスを提供することによって、そのイベントで知り合った人同士が連絡を取り合いやすくなり、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104のビジネス上のまたは個人的な関係を続けることができる、さらに不特定多数の者がユーザーにメッセージを送信できるようにする代わりに、メッセージを送信する機能を同一のイベントの参加者に限定することによってユーザーのプライバシーを保護する。  
10

#### 【0052】

一実施形態において、前記メッセージインターフェイスは、イベントのウェブページまたはインターフェイスの1若しくはそれ以上のリンクを含むことができ、したがって、異なるリンクを選択することによって、種々の非公開メッセージを、そのイベントにチェックインしている種々のユーザーに送信することが可能になる。特定の実施形態において、前記メッセージ・インターフェイス・モジュール206は、非公開と公開の両方のメッセージをイベント参加者に送信することができるメッセージインターフェイスを提供することができる。例えば、一実施形態において、前記メッセージインターフェイスは、そのイベントの参加者に非公開メッセージを送信するための第1のリンクと、そのイベントのフォーラムに公開メッセージを投稿するための第2のリンクを含むことができる。

#### 【0053】

種々の実施形態において、公開メッセージまたは非公開メッセージは種々の形を取ってよい。例えば、メッセージは電子メールメッセージ、チャットメッセージ、ビデオメッセージ、音声メッセージなどであってもよい。一実施形態において、電子メールメッセージは、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104とは別の電子メールアカウントに送信することができる。別の実施形態において、電子メールメッセージは、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104内でユーザー用に作成された電子メールアカウントに送信することができる。本開示に照らして、他のタイプのメッセージも前記メッセージインターフェイスとともに使用できることが明らかである。  
30

#### 【0054】

一実施形態において、非公開メッセージを送信することには、電子メールを送信することが含まれていてよい。別の実施形態において、非公開メッセージを送信することには、チャットセッションを開くことおよび最初のメッセージをそのチャットセッションに送信することが含まれていてよい。種々の実施形態において、第2のユーザーにメッセージを送信することには、前記第2のユーザーがそのメッセージを読む、見る、聞く、または受信することを選択するかどうかにかかわらず、前記第2のユーザーがそのメッセージを種々の方法で入手できるようにすることが含まれる。  
40

#### 【0055】

種々の実施形態において、前記メッセージ・インターフェイス・モジュール206は、種々の他の機能とともにメッセージインターフェイスを提供することができる。例えば、イベントがバーで開催される場合、前記メッセージインターフェイスは、1人のユーザーが別のユーザーに飲み物を買うためのリンクを含むことができ、これは、第1のユーザーからの飲み物の価格をそのバーに送信し、その飲み物と引き換えるために第2のユーザー  
50

が使用できるコードを提供する。さらに他の実施形態において、前記メッセージ・インターフェイス・モジュール206は、過度の飲酒をしないよう促すために、1人当たりに対して購入される飲み物の数を制限することができる。別の実施形態において、イベントがビジネスイベントである場合に、前記メッセージインターフェイスは、文書をメッセージとともに送信するためのリンクを含むことができる。本開示に照らして、種々の機能を、前記メッセージインターフェイスによって提供できることが明らかである。

#### 【0056】

図3は、ネットワーク化された通信を円滑にするための装置300の別の実施形態を示す。前記装置300には、イベントベース通信装置102の実施形態が含まれ、この通信装置には、図2を参照するとともに前述しているように実質的に、イベント作成モジュール202、チェック・イン・モジュール204、およびメッセージ・インターフェイス・モジュール206が含まれる。前記装置300の前記図示の実施形態において、前記イベントベース通信装置102には、フィルター・カテゴリー・モジュール306、イベント情報モジュール308、イベント地図モジュール310、ユーザープロファイル情報モジュール312、物理的参加者モジュール314、店舗モジュール316、種類別マーケットプレイスモジュール318、関連イベントモジュール320、イベント・フィードバック・モジュール322、および広告モジュール324も含まれ、これらは後述されている。前記チェック・イン・モジュール204は、前記図示の実施形態において、ロケーション・チェック・イン・モジュール302を含むことができる。前記メッセージ・インターフェイス・モジュール206は、前記図示の実施形態において、メッセージ・フィルター・モジュール304を含むことができる。

10

#### 【0057】

一実施形態において、前記フィルター・カテゴリー・モジュール306は、イベントプロファイルと関連付けられた複数のフィルターカテゴリーを使用するよう構成されていて、前記チェック・イン・モジュール204が前記イベントプロファイルと関連付けた複数のユーザープロファイルの各ユーザープロファイルを分類する。例えば、ユーザーは、イベントにチェックインする際に、ビジネス、交際、交友などのフィルターカテゴリーを選択することができる。続いて、前記チェック・イン・モジュール204が前記ユーザーのプロファイルを前記イベントプロファイルと関連付けると同時に、前記フィルター・カテゴリー・モジュール306は、前記選択したフィルターカテゴリーを使用して前記ユーザーのプロファイルを分類する。

20

#### 【0058】

前記フィルター・カテゴリー・モジュール306は、イベントにチェックインしたユーザー（またはユーザープロファイル）を、そのイベント用の種々のカテゴリーに分ける。イベントにチェックインしているユーザーを分類することによって、ユーザーは、同じタイプの社会的交流を求めている前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104の他のユーザーを見つけることができる。例えば、前記フィルター・カテゴリー・モジュール306は、イベントにチェックインしたユーザーを、ビジネスカテゴリー、交際カテゴリー、交友カテゴリーに分けることができる。続いて、さらに他の実施形態において、イベントにチェックインした各ユーザーは、前記フィルター・カテゴリー・モジュール306がそのイベントにチェックインしたその他のユーザーのそれぞれをどう分類したかを確認することができ、したがって、交友を求めている人々は、交友を求めている他の人々と交流することができ、交際関係を求めている人々との誤解を避けることができる。同様に、そのイベントでビジネス上の交流を求めている人々は、交際相手または新たな交友を求めようとしている人々と交流せずに、ビジネス上の交流を求めている他の人々と交流することができる。

30

#### 【0059】

一実施形態において、イベントプロファイルと関連付けられた前記複数のフィルターカテゴリーは、ビジネスカテゴリー、交際カテゴリー、および／または交友カテゴリーを含むことができる。さらに他の実施形態において、イベントプロファイルの前記フィルター

40

50

カテゴリーは、さらにカテゴリーを含むことができる。例えば、一実施形態において、イベントプロファイルの前記フィルターカテゴリーは、ビジネス、場所、物品、および／またはイベントプロファイルと関連付けられたサービスを促進するために管理者が定義できる宣伝カテゴリーを含むことができる。例えば、前記イベントプロファイルが展示会用である場合、管理者は、そのベンダーの1つをその展示会で宣伝する宣伝カテゴリーを定義することができる。続いて、その展示会にチェックインするユーザーは、前記宣伝カテゴリーのもとでチェックインすることができて、ユーザーのつながり、または宣伝されたベンダーへの関心を示すことができる。特定の実施形態において、前記管理者は、広告主、そのイベントプロファイルのスポンサーなどを宣伝するために前記宣伝カテゴリーを定義することができる。一実施形態において、前記管理者は、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104の管理者であってもよい。別の実施形態において、前記管理者は、前記イベントプロファイルの管理者であってもよい。

10

#### 【0060】

一実施形態において、前記フィルター・カテゴリー・モジュール306は、前記チェック・イン・モジュール204が複数のイベントプロファイルと関連付けたユーザープロファイルを、各イベントのカテゴリーを用いて分類することができる。例えば、ビジネス会議で都市を訪問しているユーザーは、「ビジネス」カテゴリーのもとでその会議にチェックインできるが、同時に、「交友」カテゴリーのもとで営業時間外の交流イベントの開催場所にチェックインすることができる。各イベントプロファイルは、同類または種々のフィルターカテゴリーを、種々の実施形態において用いることができる。例えば、一実施形態において、各イベントは、「ビジネス」、「交際」、および「交友」カテゴリーを、選択式の宣伝カテゴリーとともに用いることができる。ただし、別の実施形態において、展示会の前記フィルターカテゴリーは、「ベンダー」および「就職フェア」カテゴリーを含んでいてもよく、湖畔キャンプ場の前記フィルターカテゴリーは「舟遊び」および「ハイキング」カテゴリーを含んでいてもよい。本開示に照らして、前記フィルター・カテゴリー・モジュール306は、イベントと関連付けられたユーザープロファイルを分類するために種々のフィルターカテゴリーを使用できることが明らかである。

20

#### 【0061】

一実施形態において、前記イベント情報モジュール308は、前記イベントプロファイルについて情報を表示する。情報を表示することには、種々の実施形態において、クライアント110がモニタースクリーンリーダー、または他のディスプレー技術を用いて表示するウェブページ、アプリ画面などを提示することが含まれる。種々の実施形態において、前記イベントプロファイルについての情報は、前記イベント自体の情報および／またはそのイベントにチェックインしたユーザーについての情報を含むことができる。

30

#### 【0062】

一実施形態において、前記イベント情報モジュール308は、前記イベントプロファイルについての情報を表示することができ、これには、前記チェック・イン・モジュール204が前記イベントプロファイルと関連付けた複数のユーザープロファイルの1若しくはそれ以上のユーザープロファイルへの1若しくはそれ以上のリンクが含まれる。前記イベントプロファイルにチェックインした前記ユーザープロファイルへのリンクを表示することによって、ユーザーは、そのイベントのその他のユーザーを簡単に特定することができる。特定の実施形態において、前記イベント情報モジュール308は、各ユーザープロファイルへのリンクを、前記メッセージ・インターフェイス・モジュール206によって提供された前記メッセージインターフェイスを通じてユーザーと連絡をとるためのリンクとともに表示する。

40

#### 【0063】

一実施形態において、前記イベント情報モジュール308は、前記イベントプロファイルについて情報をビデオ形式で表示してもよい。例えば、特定の実施形態において、前記イベント情報モジュール308は、ユーザーがそのイベントにチェックインすると同時に、ユーザープロファイルへのリンクとともにライブアップデートを提供するために映像表

50

示を使用してもよい。いくつかの実施形態において、前記イベント情報モジュール308はまた、1若しくはそれ以上の映像入力を、ユーザープロファイルへの1若しくはそれ以上のリンクとともに表示することもできる。例えば、モバイル式のクライアント110を有するユーザーは、そのユーザーの居場所からストリーミング映像を提供することができ、前記イベント情報モジュール308は、そのユーザーのプロファイルへのリンクを表示することができる。さらなる実施形態において、そのユーザーの居場所からストリーミング映像は、そのユーザーが選択した音楽などのストリーミング音声を含むことができる。別の実施形態において、チェックインしたユーザーが映像入力を利用できない場合に、前記イベント情報モジュール308は、映像入力の代わりに前記ユーザープロファイルの写真を表示することができる。

10

#### 【0064】

一実施形態において、前記イベント情報モジュール308は、前記イベントプロファイルと関連付けられた複数のフィルターカテゴリーを使用して、ユーザープロファイルへの前記1若しくはそれ以上のリンクを分類する。さらに他の実施形態において、前記イベント情報モジュール308は、前記フィルター・カテゴリー・モジュール306と同一のフィルターカテゴリーを使用して、各ユーザーがそのイベントにチェックインした際に選択した前記カテゴリーに基づくそのイベントのためのユーザープロファイルへのリンクを表示する。別の実施形態において、前記イベント情報モジュール308は、前記フィルター・カテゴリー・モジュール306に追加して、または前記フィルター・カテゴリー・モジュール306とは別のフィルターカテゴリーを使用して、前記モジュール308がユーザープロファイルに表示するそのリンクをさらに分類する。例えば、前記フィルター・カテゴリー・モジュール306が前記交際カテゴリーを使用してイベントのユーザープロファイルを分類した場合、前記イベント情報モジュール308は同一の「交際」カテゴリーを使用して、交際イベントにチェックインしたすべてのユーザープロファイルへのリンクを表示することができるか、または追加のフィルターカテゴリーを使用して性別、身長、または「交際」カテゴリーの人々が関心を持つ任意カテゴリー別にリンクを表示することができる。前記追加のフィルターカテゴリーは、ユーザーのプロファイルの情報に基づいてよく、またはユーザーがそのイベントにチェックインした際にユーザーから要求された情報に基づいてよい。

20

#### 【0065】

前記図示の実施形態において、前記イベント地図モジュール310は、イベントプロファイルへの少なくとも1つのリンクを含むマップを表示するよう構成されている。さらに他の実施形態において、前記リンクは、前記イベントプロファイルの位置に相当する地図上の位置に設定されている。さらに他の実施形態において、前記イベント地図モジュール310は、地図上の適切な位置に設定された複数のリンクとともに複数のイベントプロファイルへの地図を表示することができる。イベントプロファイルへのリンクとともに地図を表示することにより、ユーザーがイベントを見つけるための簡単な方法が提供される。別の実施形態において、ユーザーは別の方法でイベントを見つけることができ、これにはイベントのリストまたはディレクトリ、またはイベント検索を使用することが含まれる。特定の実施形態において、前記イベント地図モジュール310は、イベントプロファイルへのリンクを選択的に表示することができ、これは、ユーザーが選択した1若しくはそれ以上のカテゴリーまたはイベントタイプに基づく。例えば、一実施形態において、ユーザーが「野外イベント」のカテゴリーを選択すると、前記イベント地図モジュール310は野外イベントのイベントプロファイルへのリンクを表示して、他のイベントは除外する。

40

#### 【0066】

一実施形態において、前記イベント地図モジュール310、またはイベントのリストまたはディレクトリを提供する他のモジュール、イベント検索、またはイベントプロファイルを見つける他のどの方法も、ユーザープロファイルの位置を使用して、そのユーザーに近い場所のイベントのイベントプロファイルへのリンクを選択的に表示することができる。ユーザープロファイルの位置を判断することについては、前記物理的参加者モジュール

50

314を参照して後述されている。そのユーザーに近い場所のイベントを選択的に表示することによって、ユーザーは自分に近い場所のイベントをより簡単に見つけることができる。イベントを選択的に表示することの一例として、いくつかの実施形態において、前記イベント地図モジュール310は、都市内のユーザープロファイルに対する位置を判断することができ、その都市にズームした地図を、その都市内の近くのイベントへのリンクとともに表示することができる。世界または全国地図ではなく、都市地図上のイベントプロファイルへのリンクを表示することによって、前記イベント地図モジュール310は、近場のイベントを簡単に見つけやすくなる。

#### 【0067】

一実施形態において、前記ユーザープロファイル情報モジュール312は、ユーザープロファイルについての情報を表示するよう構成されていてもよい。ユーザープロファイルについての情報は、ユーザーによって入力された情報および／または前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104上のそのユーザープロファイルのアクティビティについての情報を含むことができる。一実施形態において、1つのユーザープロファイルについての情報は、「閲覧したユーザープロファイル」のリストを含むことができ、これは、前記1つのユーザープロファイルのユーザー自身が、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104上で閲覧したまたはアクセスしたユーザープロファイルである。別の実施形態において、1つのユーザープロファイルについての情報は、「訪問者」ユーザープロファイルのリストを含み、これは、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104上有る前記1つのユーザープロファイルを閲覧したまたはそれにアクセスしたユーザーのユーザープロファイルである。特定の実施形態において、前記ユーザープロファイル情報モジュール312によって表示された情報は、閲覧したユーザープロファイルへのリンク、および／または訪問者ユーザープロファイルへのリンクを含む。そのような実施形態において、ユーザーは、どのユーザープロファイルを閲覧したか、およびどのユーザープロファイルが自分のユーザープロファイルを閲覧するために使用されたかという履歴を簡単に見ることができる。これらのユーザープロファイルを見ることによって、前記メッセージインターフェイスを使用して連絡をとることをユーザーに提案してもよい。

#### 【0068】

前記図示の実施形態において、前記物理的参加者モジュール314は、前記チェック・イン・モジュール204が、前記イベントプロファイルと関連付けた前記複数のユーザープロファイルの少なくとも1つのユーザープロファイルを、前記イベントプロファイルの物理的参加者として分類するよう構成されている。特定の実施形態において、前記物理的参加者モジュール314は、前記ユーザープロファイルの位置が前記イベントプロファイルの1若しくはそれ以上の位置基準を満たすとの判断に応答して、ユーザープロファイルを物理的参加者として分類することができる。さらに他の実施形態において、前記物理的参加者モジュール314は、イベントプロファイルの物理的参加者ではないユーザープロファイルを、前記イベントプロファイルの仮想的参加者として分類することができる。ユーザープロファイルをイベントの物理的または仮想的参加者として分類することは、ユーザーが現実の世界で対面することを円滑にする。例えば、2人のユーザーが、「交際」カテゴリーでイベントにチェックインした場合、この2人のユーザーは、前記メッセージインターフェイスを使用して、知り合いになり、最終的には現実の世界で対面することを望む可能性がある。この2人のユーザーはお互いにそのイベントの物理的参加者であることが分かれば、そのイベントですぐに対面する手配をすることができる。ただし、1人またはどちらもそのイベントの仮想的参加者である場合には、どちらにとっても都合のよい場所で後日、対面する手配をすることができる。

#### 【0069】

前記物理的参加者モジュール314は、クライアント110からの地理位置情報、そのユーザーが入力した情報などに基づいて、前記ユーザープロファイルの位置を判断することができる。例えば、一実施形態において、ユーザーのクライアント110が衛星測位システム（「GPS」）対応の携帯電話である場合、前記物理的参加者モジュール314は

10

20

30

40

50

、 G P S 、基地局、および／またはその携帯電話からの無線アクセスポイントの位置に基づいて、そのユーザーのプロファイルの位置を判断することができる。別の実施形態において、ユーザーのクライアント 110 がデスクトップコンピューターである場合、前記物理的参加者モジュール 314 は、インターネットプロトコル（「 I P 」）の地理データベースインデックスに基づいて、またはそのユーザーが入力した情報に基づいて、その位置を判断することができる。

#### 【 0070 】

一実施形態において、前記物理的参加者モジュール 314 は、ユーザープロファイルにロケーションを使用して、その位置が、前記イベントプロファイルの 1 若しくはそれ以上の位置基準を満たすかどうかを判断することができる。位置基準は、種々の実施形態において、デフォルトの位置基準に基づいてもよく、または各イベントプロファイルに指定されていてもよい。例えば、一実施形態において、前記物理的参加者モジュール 314 は、ユーザープロファイルの位置がそのイベントの四分の一マイル以内にある場合、そのユーザーはイベントの物理的参加者であると指定するデフォルトの位置基準を使用することができる。別の実施形態において、前記物理的参加者モジュール 314 は、別のイベントについて別の位置基準を使用することができる。例えば、一実施形態において、都市全体のイベントプロファイルの前記位置基準は、その都市内のどのユーザーも物理的参加者であると指定することができる。あるいは、別の実施形態において、小さな会場でのイベントの前記位置基準は、物理的参加者が単に四分の一マイル以内ではなく、その会場にいると指定することができる。

10

#### 【 0071 】

前記図示の実施形態において、前記店舗モジュール 316 は、イベントプロファイルと関連付けられた店舗インターフェイスを提供するよう構成されている。一実施形態において、店舗インターフェイスにより、ユーザーは、そのイベントに関係する品物および／またはサービスを購入することができる。例えば、特定の実施形態において、店舗インターフェイスは、前記イベントプロファイルからの情報とともに表示されてもよく、そのイベントのスポンサーが販売する品物へのリンクを含んでいてもよい。さらに他の実施形態において、前記店舗インターフェイスは、「ショッピングカート」などの e コマース機能を提供することができ、ユーザーは、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 内の品物および／またはサービスをオンライン購入することができる。

20

#### 【 0072 】

一実施形態において、前記フィルター・カテゴリー・モジュール 306 を参照して前述しているように、前記店舗インターフェイスにより、ユーザーは、前記イベントプロファイルの 1 若しくはそれ以上の宣伝フィルターカテゴリーなどの追加のフィルターカテゴリーを購入することができる。別の実施形態において、前記店舗インターフェイスにより、ユーザーは高い表示優先順位を購入することができ、その結果、前記イベント情報モジュール 308 は、他のユーザープロファイルへのリンクよりも先に、表示優先順位の高いユーザープロファイルへのリンクを表示する。高くなった表示優先順位を使用して、他のユーザーへのユーザープロファイルの露出を増やすことができる。さらに別の実施形態において、前記店舗インターフェイスにより、個人事業者らは、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 上で品物および／またはサービスをイベントに関連して販売することができる。本開示に照らして、店舗インターフェイスには他の属性も含まれることが明らかである。

30

#### 【 0073 】

一実施形態において、前記種類別マーケットプレイスモジュール 318 は、前記イベントプロファイルと関連付けられた種類別マーケットプレイスインターフェイスを提供するよう構成されている。特定の実施形態において、種類別マーケットプレイスインターフェイスにより、ユーザーは、前記イベントプロファイルと関連付けられた広告を掲載して、広告に反応を示すことができる。例えば、一実施形態において、展示会イベントのベンダーは、そのイベントプロファイルと関連付けられた類別マーケットプレイスインターフェ

40

50

イスを使用して、そのベンダーの製品を宣伝し、その宣伝について他のユーザーから受け取った質問に応答することができる。本開示に照らして、種類別マーケットプレイスインターフェイスには他の属性も含まれることが明らかである。

#### 【0074】

一実施形態において、前記関連イベントモジュール320は、前記イベント情報モジュール308と連携するよう構成されていて、イベントプロファイルについての情報を表示し、これは関連イベントプロファイルへの1若しくはそれ以上のリンクが含まれている。種々の実施形態において、関連イベントプロファイルは、同類の場所を共有すること、同類タイプのアクティビティに関係することなどができる。関係するイベントプロファイルを表示することにより、1つのイベントにチェックインするユーザーは、チェックインしたい類似のイベントを見つけることができる。例えば、一実施形態において、イエローストーン国立公園への旅行を計画しているユーザーは、その公園のイベントプロファイルにチェックインすることができ、その公園付近の宿泊施設およびキャンプ場について関係するイベントプロファイルを見ることができる。本開示に照らして、関連イベントプロファイルには、種々の用途があることが明らかである。10

#### 【0075】

前記図示の実施形態において、前記イベント・フィードバック・モジュール322は、前記イベント情報モジュール308と連携するよう構成されていて、前記イベントプロファイルについての情報を表示し、これには前記イベントプロファイルについてのユーザー・フィードバックが含まれている。さらに他の実施形態において、前記イベント・フィードバック・モジュール322は、ユーザーがイベントプロファイルについてのフィードバックを残すためのバックインターフェイスを提供することができ、そのフィードバックを表示することができる。種々の実施形態において、ユーザー・フィードバックは、格付け評価、イベントについてのコメントなどを含む。本開示に照らして、種々のタイプのユーザー・フィードバックを収集し、種々の方法で表示できることが明らかである。20

#### 【0076】

一実施形態において、前記広告モジュール324は、前記イベント情報モジュール308と連携するように構成されていて、前記イベントプロファイルについての情報を表示し、これには広告が含まれている。種々の実施形態において、前記広告モジュール324によって表示された広告は、バナー広告、ポップアップ広告、ポップアンダー広告などを含む。前記イベントプロファイルとともに広告を表示することにより、そのイベント、またはソーシャル・ネットワーキング・サービス104を支える財源を提供することができる。本開示に照らして、前記広告モジュール324は、種々の方法で広告を表示できることが明らかである。30

#### 【0077】

一実施形態において、前記チェック・イン・モジュール204は、ロケーション・チェック・イン・モジュール302を含む。

#### 【0078】

特定の実施形態において、前記チェック・イン・モジュール204は、前記ユーザープロファイルの位置が前記イベントプロファイルの1若しくはそれ以上の位置基準を満たすことを判断するために前記ロケーション・チェック・イン・モジュール302を使用して、ユーザープロファイルをイベントプロファイルと関連付けることができる。前記ロケーション・チェック・イン・モジュール302は、ユーザープロファイルの位置、および前記イベントプロファイルの位置基準を、前記物理的参加者モジュール314を参照して前述している方法で判断することができる。特定の実施形態において、ユーザーの位置がイベントの位置基準を満たす場合、前記ロケーション・チェック・イン・モジュール302はそのユーザーをそのイベントに自動的にチェックインすることができる。一実施形態において、前記ロケーション・チェック・イン・モジュール302は、一般的または特定のイベントにチェックインする許可をそのユーザーから受信すると、そのユーザーをそのイベントに自動的にチェックインすることができる。4050

## 【0079】

一実施形態において、前記メッセージ・インターフェイス・モジュール206は、メッセージ・フィルター・モジュール304を含む。特定の実施形態において、前記メッセージ・フィルター・モジュール304は、メッセージフィルターをメッセージインターフェイスに追加する。さらに他の実施形態において、第1のユーザーが第2のユーザーにメッセージを送信するために前記メッセージインターフェイスを操作できる場合、第2のユーザーは第1のユーザーからの1若しくはそれ以上のメッセージをブロックするために前記メッセージフィルターを操作できる。一実施形態において、前記メッセージフィルターは、第2のユーザーによって指定された期間にわたり、第1のユーザーからのメッセージをブロックすることができる。別の実施形態において、前記メッセージフィルターは、第2のユーザーがそのメッセージのブロックを解除するまでの間、第1のユーザーからのメッセージを永久にブロックすることができる。メッセージをブロックすることにより、ユーザーは、不要なメッセージを回避することができる。例えば、一実施形態において、出会い系イベントでユーザーが不要なメッセージを別のユーザーから受信している場合、受信したユーザーは、送信したユーザーからのメッセージをブロックして、そのイベントで他の人たちとの交流に集中できる。10

## 【0080】

図4は、ネットワーク化された通信を円滑にするための方法400の一実施形態を示す。前記方法400が始まり、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104内にイベントプロファイルを作成する(420)。例えば、一実施形態において、前記イベント作成モジュール202は、イベントプロファイルを作成する(402)。前記方法400は、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104の複数のユーザープロファイルを前記イベントプロファイルと関連付ける(404)。例えば、一実施形態において、前記チェック・イン・モジュール204は、ユーザープロファイルを前記イベントプロファイルと関連付ける(404)。前記方法400は、前記第1のユーザーのユーザープロファイルと前記第2のユーザーのユーザープロファイルとが前記イベントプロファイルと関連付けられているとの判断に応答して前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104の第1のユーザーが前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104の第2のユーザーに非公開メッセージを送信するために操作できるメッセージインターフェイスを提供して(406)、前記方法400が終了する。一実施形態において、前記メッセージ・インターフェイス・モジュール206は、メッセージインターフェイスを提供する(406)。20

## 【0081】

図5は、ネットワーク化された通信を円滑にするための方法500の別の実施形態を示す。前記方法500が始まり、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104内にイベントプロファイルを作成する(502)。例えば、一実施形態において、前記イベント作成モジュール202は、イベントプロファイルを作成する(502)。前記方法500は、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス104の複数のユーザープロファイルを前記イベントプロファイルと関連付ける(504)。例えば、一実施形態において、前記チェック・イン・モジュール204は、ユーザープロファイルを前記イベントプロファイルと関連付ける(504)。前記方法500は、フィルターカテゴリーを使用して、前記イベントプロファイルと関連付けられたユーザープロファイルを分類する(506)。一実施形態において、前記フィルター・カテゴリー・モジュール306は、前記ユーザープロファイルを分類する(506)。30

## 【0082】

前記方法500は、そのイベントと関連付けられたユーザープロファイルの位置が前記イベントプロファイルの位置基準を満たすかどうかを判断する(508)。その場合、前記方法500は、前記ユーザープロファイルをそのイベントの物理的参加者として分類する(512)。そうではない場合、前記方法500は、前記ユーザープロファイルをそのイベントの仮想的参加者として分類する(510)。一実施形態において、前記物理的参4050

加者モジュール 314 は、前記ユーザープロファイルの位置がイベントプロファイルの位置基準を満たすかどうかを判断する(508)とともに、前記ユーザープロファイルを仮想的または物理的参加者として分類する(510、512)。前記方法 500 は、前記イベントプロファイルについての情報を、前記フィルターカテゴリーおよび／または各ユーザープロファイルの物理的または仮想的参加者としての前記分類に基づいて、分類された前記ユーザープロファイルへのリンクとともに表示する(514)。一実施形態において、前記イベント情報モジュール 308 は、前記イベントプロファイルについて情報を、分類されたユーザープロファイルへのリンクで表示する(514)。

#### 【0083】

前記方法 500 は、前記第 1 のユーザーのユーザープロファイルと前記第 2 のユーザーのユーザープロファイルとが前記イベントプロファイルと関連付けられているとの判断に応答して、前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 の第 1 のユーザーが前記ソーシャル・ネットワーキング・サービス 104 の第 2 のユーザーに非公開メッセージを送信するために操作できるメッセージインターフェイスを提供して(516)、前記法方法 400 が終了する。一実施形態において、前記メッセージ・インターフェイス・モジュール 206 は、メッセージインターフェイスを提供する(516)。

#### 【0084】

図 6 は、イベントベース通信の一実施形態を示すウェブページ 600 の例である。前記図示の実施形態において、前記イベント情報モジュール 308 は、前記ウェブページ 600 を使用して、そのイベントについての情報をユーザーに表示する。一実施形態において、前記ウェブページ 600 は、そのイベントの名前 602 を含む。さらに他の実施形態において、前記ウェブページ 600 は、そのイベントの画像 604 を含む。特定の実施形態において、前記ウェブページ 600 は、そのイベントについて前記フィルター・カテーテゴリー・モジュール 306 が使用した前記フィルターカテゴリーのそれぞれで何人のユーザーがそのイベントにチェックインしているかを示す概要 606 を含む。一実施形態において、前記ウェブページ 600 には、前記チェック・イン・モジュール 204 のコントロール 610 が含まれていて、これにより、ユーザーはそのイベントにチェックインまたはチェックアウトすることができ、また前記ユーザーが現在、チェックインまたはチェックアウトしているかどうかが示される。さらに他の実施形態において、前記ウェブページ 600 には、前記フィルター・カテーテゴリー・モジュール 306 のコントロール 608 が含まれていて、これにより、前記ユーザーは、「ビジネス」、「交際」、または「交友」カテーテゴリーのもとでチェックインすることができる。

#### 【0085】

一実施形態において、前記イベント情報モジュール 308 は、前記ウェブページ 600 を使用して、1若しくはそれ以上の「ビジネス」、「交際」、およびフィルターカテゴリーで、イベント参加者 612 のユーザープロファイルへのリンクを表示する。特定の実施形態において、ユーザープロファイルへの各リンクは、そのユーザーの名前 614 を含んでいてもよい。さらに他の実施形態において、ユーザープロファイルへの各リンクは、そのユーザーの写真 616 を含んでいてもよい。一実施形態において、前記ユーザーの名前 614 と画像 616 は、そのユーザーの実名と本人写真であってもよい。別の実施形態において、前記ユーザーの名前 614 および／または画像 616 は、そのユーザーの実名および／または本人写真ではなくても、そのユーザーが、そのユーザープロファイルのために選択したものであってよい。例えば、ユーザーは、物体についてのユーザープロファイルを、その物体の名前 614 と写真 616 とともに、作成することができる。

#### 【0086】

ユーザープロファイルの各リンクは、特定の実施形態において、追加のリンク 618、620 を含む。例えば、前記図示の実施形態において、1つのリンク 618 は、電子メールメッセージを送信するためのメッセージインターフェイスを提供するために前記メッセージ・インターフェイス・モジュール 206 を作動させることができる。さらなる例として、前記図示の実施形態において、別のリンク 620 は、そのユーザーとのチャットセッ

10

20

30

40

50

ションを開くメッセージインターフェイスを提供するために前記メッセージ・インターフェイス・モジュール206を作動させることができる。一実施形態において、ユーザーープロファイルへの各リンクにはまた、前記物理的参加者モジュール314から、そのユーザーの物理的または仮想的参加者としての分類622を含めることもできる。

#### 【0087】

一実施形態において、前記ウェブページ600には、前記関連イベントモジュール320から、関連イベントプロファイルへのリンク624を含めることができる。さらなる実施形態において、前記ウェブページ600には、前記イベント・フィードバック・モジュール322から、前記イベントプロファイルについてのユーザーフィードバック626を含めることができる。種々の実施形態において、前記イベント情報モジュール308は、ウェブページ600上の前記イベントプロファイルについて、より詳細なまたはより簡潔な情報を表示するために種々の他のモジュールと連携することができる。  
10

#### 【0088】

図7は、イベントベース通信の別の実施形態を示すウェブページ700の例である。前記図示の実施形態において、前記イベント地図モジュール310は、前記ウェブページ700を使用して、地図702をユーザーに表示する。さらに他の実施形態において、前記地図702には、イベントプロファイルへのリンク704が含まれていて、それで、各リンク704を、そのリンクされたイベントプロファイルの位置に相当する前記地図702上の位置に置くことができる。

#### 【0089】

本開示は、その精神と基本的な特徴から逸脱することなく、他の具体的な形で具現化することができる。本書に記載された実施形態は、あらゆる点において考慮され、説明として供するものであり、いかようにも限定するものではない。本開示の範囲は、したがって、前述の説明によってというよりはむしろ、本書付帯の請求項によって示される。本請求項の意図および同等範囲内に入るどのような変更も、その範囲内に含まれる。  
20

【図1】

【図2】

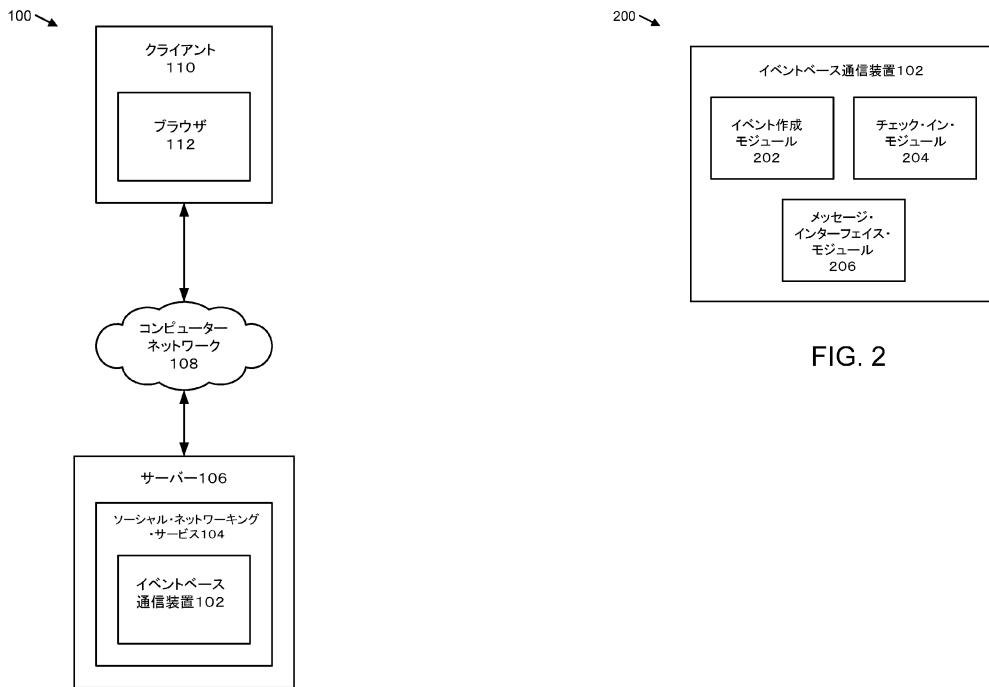


FIG. 2

FIG. 1

【図3】

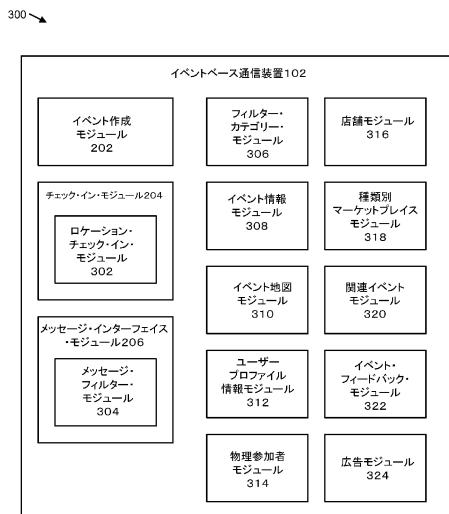


FIG. 3

【図4】

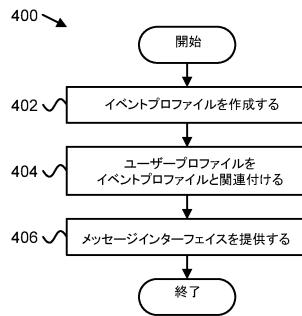


FIG. 4

【図5】

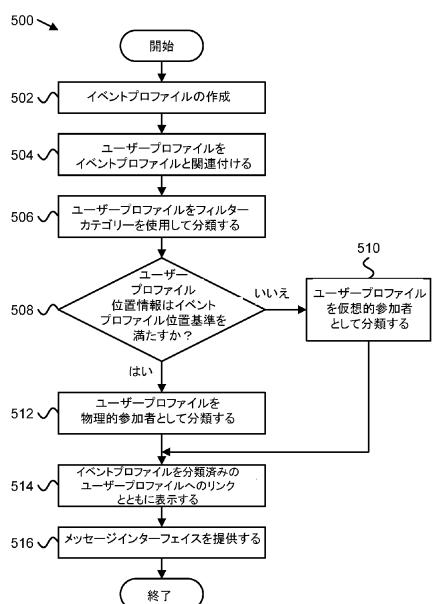


FIG. 5

【図6】

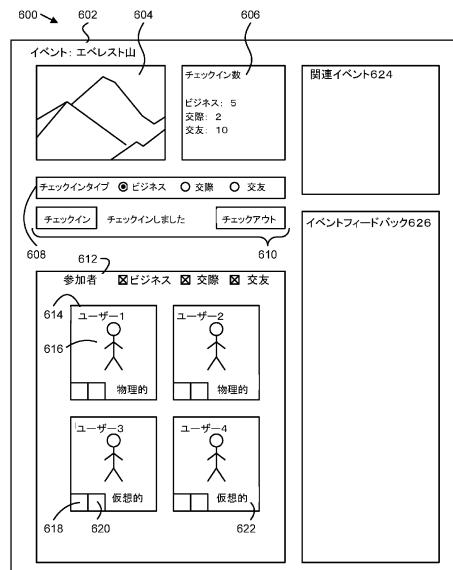
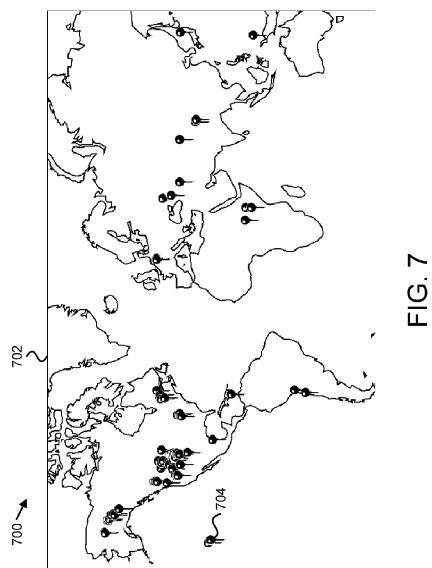


FIG. 6

【図7】



---

フロントページの続き

(31)優先権主張番号 61/702,374

(32)優先日 平成24年9月18日(2012.9.18)

(33)優先権主張国 米国(US)

(56)参考文献 米国特許出願公開第2011/0276570(US, A1)

特表2012-516492(JP, A)

国際公開第2012/016112(WO, A2)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G 06 Q 10 / 00 - 99 / 00

G 06 F 13 / 00